

第3回定例会

・決算審査特別委員会②

・決算審査特別委員会①



学校教育の状況

相談内容は様々ですが、やはりコロナ禍による不安が大きいと思われるが、相談者の内容によって一度で終わる場合もあれば、繰り返しという場合もあります。

なお、本町にはスクールカウンセラーはいませんので、現状では北見市から専門職の方に適宜依頼し、相談体制を取っています。

教育長 手元に資料は持ち合わせていませんが、たしか二十数回の教育相談を行っています。

但木 昨年度の実態としてどれくらいの児童生徒がスクールカウンセラーを利用したのでしょうか。

また、相談することによってどのような改善が見られたのか伺います。

「スクールカウンセラー」

学校内において児童や生徒、その保護者に対して、臨床心理に関する専門知識を生かしながらサポートしていく専門家。

全国的には、児童生徒の場合、友人関係や家庭での悩み、学習に関する相談が多く、昨今のコロナ禍や災害、環境変化などによるストレスも増えている。

また、教職員の悩みに対する心のケアや、特別支援教育・不登校などについて教員研修の講師を依頼している自治体もあり、より幅広い業務が求められている。

教育長 その両方です。保護者から依頼される場合もあれば、学校側から周知する場合もあり、両方の体制を取っています。

但木 相談をしたい場合、例えば保護者の方から要請するのか、または学校側から事前にスクールカウンセラーが来ることをお知らせしたうえで、保護者が申請するのか伺います。

決算審査特別委員会委員長報告 (要旨)

国内の経済情勢は、新型コロナウイルス感染症やロシアによるウクライナ侵略などの影響を受け厳しい状況の中、本町における令和3年度の財政状況等については、第5期総合計画と第2期地方創生総合戦略の初年度として、重点プロジェクトの実行に努めながら、限られた財源の中で最大の事業効果が発揮できるように、国・道の補助制度の積極的活用や交付税措置が見込まれる起債発行などの財源確保と、バランスの取れた行財政運営が図られるよう務められ、健全な状況となっています。

地方自治体を取り巻く環境は、財政・医療福祉面などにおいて益々地域格差が拡大し、依然として厳しい状況ですが、今後も引き続き、町民ニーズの確かな把握と、安定した財政基盤の確立を図るべく、行財政運営に努めることを望んでいます。

第4回定例会は12月に開催されます!!

日程の詳細は、町広報12月号の折込みチラシをご覧ください。
 傍聴を希望される方はマスクの着用など感染症予防対策にご協力願います。



第3回定例会

令和3年度各会計 決算を徹底審議！ 決算審査特別委員会 質疑の中から

決算審査特別委員会
9月14日・15日

令和4年9月14日開催の第3回定例会において、令和3年度一般会計及び6つの各特別会計の決算が提案され、議長及び議会選出の監査委員（山内議員）を除く7名の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、付託して審査することを決めました。

9月14日に開催した特別委員会では委員長に三田議員、副委員長に但木議員を選任し、15日開催の特別委員会において審議を行った結果、全会一致で決算を認定すべきと決定し、特別委員会を閉会しました。

翌日9月16日開催の定例会本会議において、三田委員長から決算を認定すべきとの委員長報告が行われ、その後の採決で、全会一致で決算認定の議決を行いました。

9月15日に開催された決算審査特別委員会の質疑についてお届けします。

なお、紙面の都合上、質問と答弁は要約しています。

雇用対策の状況

但木 雇用対策について、通年雇用化に向けた取り組みを行ったとありますが、実際に通年雇用となった事例はあるのでしょうか。

経済課長 これは、遠軽地区通年雇用促進協議会が行った内容であり、具体的に取り組みとしては国費を利用して大型車両等の運転免許取得費用などの助成をしています。本町においても数件の事例がありますが、その後の通年雇用化への移行という部分では当協議会では把握していません。



但木 当協議会に本町も加盟して、それらの成果について何ら示されておらず、決算報告なのであれば、「今年はこのような実績であったため、来年はこのように取り組む」などといった表現や評価の示し方があってよいのではないですか。

経済課長 当協議会では、その他に季節労働者に対する協議会事業の周知や、企業を対象に通年雇用奨励金説明会なども開催したうえで、その後の季節雇用保険加入者の推移をもって成果としている状況です。

副町長 雇用関係については、ハローワークが主体となり、本町も加盟する当協議会と連携をして、就労支援という形で通年取り組んでいるということでご理解いただきたいと思います。

また、一人一人の季節雇用者の就労状況の把握は難しいというのが実態です。

令和3年度決算状況

区分	最終予算額	歳入決算額	歳出決算額	収支差引
一般会計	68億4,836万円	68億5,788万円	66億4,703万円	2億1,085万円
簡易水道特別会計	3億2,089万円	3億2,127万円	3億1,117万円	1,010万円
国民健康保険特別会計	7億7,148万円	7億7,697万円	7億6,862万円	835万円
公共下水道特別会計	2億6,985万円	2億7,035万円	2億6,074万円	961万円
介護保険特別会計	5億3,361万円	5億4,196万円	5億1,155万円	3,041万円
介護サービス事業特別会計	2億5,248万円	2億5,737万円	2億4,915万円	822万円
後期高齢者医療特別会計	9,116万円	9,100万円	9,004万円	96万円
合計	90億8,783万円	91億1,680万円	88億3,830万円	2億7,850万円